

月	単元・教材名	時数	主に学習すること	学習の目標	評価の観点
4	1 深まる学びへ				
	春に	17	文章を読んで筆者の自然や人間などに対する思いをとらえ、自分の考えを持つ。	筆者の自然や人間などの対する思いを読み取り、その思いに対する自分の考えを書く。	4
	握手		人物の言動から、登場人物の人柄や心情をとらえる。	登場人物の生き方から、人の優しさや厳しさについて考える。	4
	季節のしおり 春		春の季語や春を詠んだ和歌や俳句などを味わう。	言葉や表現の豊かな広がりを読み味わう。	5
	5 学んで時にこれら習心 —「論語」から		「論語」の教材作品を読み、語句の意味を捉えて、漢文の言い回しに注意して読み、孔子の考え方を読み取り、それに対する自分の考えを持つ。	漢文の言い回しに注意して、文脈における語句の意味を捉えて読み、人間・社会・自然などについて考え自分の意見を持つ。	4
	漢字1 熟語の読み方		漢字二字の熟語には、昔または訓を重ねる読み方と、音と訓とを組み合わせた読み方があることを知る。	熟語に関する知識を広げ、文や文章の中で読んだり使ったりする。	5
	評価しながら聞こう		「外来語の使用」について話し合っている様子を、自分の考えと比較し評価しながら聞く。	自分の考えと比較し評価しながら相手の考えを聞き、自分のもの見方や考え方、表現のしかたに役立てる。	2
社会との関わりを伝えよう	相手や目的に応じてスピーチの仕方を工夫する。		場の状況や相手に応じて言葉の選び方や伝え方を考え、互いの考えが生かせるようにする。	2	
◎書写「行の整え方」	行の中心と文字の中心がどうなっているか調べて書く。	行の整え方や、行書に調和する仮名の書き方に気をつけて書く。	5		
2 視野を広げて					
6	月の起源を探る	11	小見出しや図を参考にしながら、筆者の論理展開のしかたを読み取る。	文脈の中における語句や図の使い方などに注意して読み、筆者の論理の展開の仕方をとらえる。	4
	文章の形態を選んで書く 魅力的な紙面を作ろう		自分の思いが効果的に伝わる文章形態を選び、題材を決め、自分の印象に残ったことや伝える目的や内容に適した文章を書く。	文章の形態を選択して適切な構成を工夫し、書いた文章を読み返して文章全体を整える。	3
	「想いのリレー」に加わろう		場面・相手・目的と、それにふさわしい話題や話し方を考える。	聞き手の求める情報を的確にとらえ、自分の経験や知識を整理し、用いる語句を工夫して話す。	2
	言葉1 和語・漢語・外来語		和語・漢語・混種語・外来語の性質や特徴について理解する。	和語・漢語・外来語の使い分けに注意し、語感を磨き語彙を豊かにする。	5
	◎書写「行書と仮名の調和、配列・配置」		文字の大きさや余白の取り方を意識して書く。	行書と仮名の調和、配列・配置に気をつけて書く。	5
3 言葉を見つめる					
7	俳句の可能性 [書く]俳句を創作しよう 俳句を味わう	7	・「俳句の可能性」を通読し、俳句の特色を知るとともに、俳句に込められた心情や情景を想像する。・好きな俳句を1句選び友だちと交流する。・俳句を作る。	作者のものの見方や感じ方、表現の仕方などを読み味わい、俳句の世界に親しむ。	3・4
	言葉を選ぼう もっと「伝わる」表現をめざして 批評の言葉をたぬる		論理の展開や表現を考えて批評文を書く。	論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書き、書いた文章を読み合ってももの見方を深める。	3
	7 文法への扉1 すいかは幾つ必要?		教材文を読み、文法的な観点から表現を見直すことの意義を確認する。	文の成分の順序や構成など、文法についての理解を深め、日常生活や学校生活の中での表現や読解に生かす。	5
読書生活を豊かに					
9	読書生活をデザインしよう 未来のわたしにお薦めの本 情報コラム 本の探し方・見つけ方 「高瀬舟」「ためになるって どんなこと？」 読書案内	5	「読書生活をデザインしよう」を読み、自分の読書生活を振り返り、今までの読書傾向を分析し、本の見つけ方、本の読み広げ方などについてグループで話し合う。合わせて、読書教材を読み、文種による感じ方の違いなど感想を出し合う。	目的をもって本を読み、表現上の特徴、文章の展開や場面・登場人物の設定、表現の仕方などから文章を評価し、自分の考えを広げたり深めたりする。	4
	季節のしおり 夏		夏の季語や夏を詠んだ和歌や俳句などを味わう。	言葉や表現の豊かな広がりを読み味わう。	5
4 状況の中で					
9	挨拶—原爆の写真によせて	18	語句や表現に込められた意味を読み取り、作者のものの見方や考え方に、自分の意見を持ち、発表し合う。	作者のものの見方や考え方が表されている表現や語句の効果に着目し、人間や社会について考える。	4
	故郷		情景や人物を描写する語句や表現に着目し、人物の心情や作者の意図を読み取る。	人物を取り巻く状況や時代背景を考えながら読み、社会と人間のかかわりを考える。	4
	推敲して文章を整える		課題文を推敲し、読みやすく、わかりやすい文章にする。	書いた文章を読み返し、文章全体を整える。	3
	新聞の社説を比較して読もう		2つの社説を読み比べ、内容や表現について整理し、論理の展開の仕方を読み取る。	2つの社説を読み比べ、論理の展開のしかたを捉えて内容の理解に役立てるとともに、展開や構成、表現の仕方について評価する。	2 4
	言葉2 慣用句・ことわざ・故事成語		教材文を読み、慣用句・ことわざ・故事成語の特徴や性質について理解する。	慣用句・ことわざ・故事成語などの知識を広げる。	5
10	漢字2 漢字の造語力	5	教材文を読み、漢字の造語力について知る。	漢字の造語力について知り、語彙を豊かにし、文や文章の中で使うことができる。	3
	◎書写「これまでの学習を生かして—調和を考えて書く」		自分の好きな言葉や俳句・短歌などを書く。	これまでに学習したことを生かし、色々な用材・用具で書く。	5
5 いにしえの心と語らう					
11	季節のしおり 秋	12	秋の季語や秋を詠んだ和歌や俳句などを味わう。	言葉や表現の豊かな広がりを読み味わう。	5
	古今和歌集 仮名序		仮名遣いに注意して音読し、言葉の響きや調子を味わう。	「和歌」に対する昔の人々の思いをとらえ、人間や自然に対する考え方を理解する。	4
	君待つと—万葉・古今・新古今		和歌を音読し、それぞれの歌に詠まれている情景や感情を読み味わい、鑑賞文を書く。	和歌に表れた昔の人の思いや情景を読み味わう。和歌の効果的な表現や語句の使い方をとらえる。	4
	夏草—「おくのほそ道」から		文語の言い回しやリズムに注意しながら、朗読する。口語訳や脚注を参考にしながら読み、芭蕉の思いを読みとる。	表現の特徴や作者・松尾芭蕉の自然や人生に対するものの見方や考え方や感じ方を読みとる。	4
	古典を心の中に		古典はそれ以前の作品を生かして表現や描写を洗練させてきたことを知る。	古典作品について書かれた文章を読み、古典の世界に親しむ。	4
6 論旨を捉えて					
12	作られた「物語」を超えて	18	語句や論理の展開に着目し、筆者の主張を捉え、表現の仕方について考える。	語句や論理の展開に着目し、筆者の主張を捉え、表現の仕方について評価できる。	4
	話し合って提案をまとめよう 話し合いを効果的に勧める 課題解決に向けて会議を開く		クラス全体でどのような宣言・提言をするかグループで話し合う（取り上げたい課題とその根拠や意義）。共同宣言のための具体案を話し合う。	社会生活の中から話題を決め、説得力のある話をし、聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分のものの見方や考え方を深めたり、表現に生かしたりする。	2
	初恋 詩		文語定型詩のリズムに親しみ、作者の心情表現に触れる。	文語定型詩のリズムに親しみ、作者の心情を読み取る。	5
	文法への扉2 「ない」の違いがわからない?		教材文を読み、文法的な観点から言葉について考察することの意義を確認する。（3つの「ない」の違いについて考える。文法②「文法のまとめ」の問題に取り組む。）	2年生までに学習した文法の知識を確かめ、理解を深める。	5
	◎書写「書き文字で伝え合う」		日常生活で使うさまざまな書き文字について知り、書いてみる。	日常生活にこれまでの学習を生かせるようになる。	5
読書に親しむ					
1	エルサルバドルの少女ヘ スース 読書記録をつける ほんの世界を広げよう	2	ノンフィクションの読み物に降り、視野を広げる。 本のよみ広げ方について話し合い、自分の読書生活に生かす。	目的をもって本を読み、表現上の特徴、文章の展開や場面・登場人物の設定、表現の仕方などから文章を評価し、自分の考えを広げたり深めたりする。	4
	7 未来へ向かって				
2	季節のしおり 冬	15	冬の季語や冬を詠んだ和歌や俳句などを味わう。	言葉や表現の豊かな広がりを読み味わう。	5
	誰かの代わりに		語句や論理の展開に着目し、筆者の主張を捉え、表現の仕方について評価できる。	語句や論理の展開に着目し、筆者の主張を捉え、表現の仕方について評価できる。	4
3	わたしを束ねないで	15	筆者が、詩に託したメッセージを読みとる。	詩における語句の効果的な使い方や表現の工夫に注意して読み、筆者の詩に込めた思いを読み取り、自分の意見を持つ。	4
	漢字3 漢字のまとめ		常用漢字の総まとめとして練習問題をする。	常用漢字を適切に使い慣れる。	5
	三年間の歩みをふり返ろう 学びについて語り合う		三年間で身につけた国語の力をいかし、よき合って評価したことを元に構成を工夫して編集する。	三年間の国語の力をいかして、テーマを決め編集することで、ものの見方や考え方を深めたりする。	2 3
◎書写「手紙を書く」	手紙文の形式を知り、感謝の気持ちを込めた手紙文を書く。	手紙文の形式や季節の言葉を学習に生かす。	5		
105					